

八丈町 News Letter From  
Hachijo Town Assembly

# 議会だより

No.  
**169**  
2014.2.25

議会だよりは八丈町のホームページでもご覧いただけます  
[http://www.town.hachijo.tokyo.jp/gikai/gikai\\_dayori/gikai\\_dayori.html](http://www.town.hachijo.tokyo.jp/gikai/gikai_dayori/gikai_dayori.html)



島ことばカルタ大会

## 目次

### 第4回八丈町議会定例会

平成25年12月3、4、5日開催

- 観光行政、大きな転機へ ..... 2
- 一般質問 ..... 3
- 第4回定例会の質疑から ..... 11

# 第4回八丈町定例議会

(平成25年12月3、4、5日開催)

## 観光行政、大きな転機へ



八丈町農業担い手育成研修センター

12月議会は、一般会計の決算が主な審議内容になりますが、補正予算や特別会計まで、議論は広範囲に及びました。

### ◎観光行政

観光協会の不正経理問題は、町民の大きな関心事でしたが、協会独自の調査などで一定の決着をみました。同時に協会の経営不振の原因ともか

わる観光振興実行委員会の問題も浮上し、議会では観光行政に対して住民の不信感が高まっていると指摘、その改善を求めました。観光振興実行委員会についてはこれまで

も、町9割と観光協会1割の観光関連予算の配分や、その使われ方に対する疑問が指摘されていたほか、存在意義にも言及されてきました。今回ようやく実行委員会が解散され、従来の観光に関する事業は、町独自の事業と補助金を充てる事業になりま

す。議会としては、今後事業の弾力性は向上するか、予算の流れは明確になるのか注目していかなければなりません。

### ◎担い手育成制度

農業の後継者育成については、担い手育成制度が発足し、現在2期生が研修を受けています。今議会では、この制度の効果について多くの議員から質問が出ました。まず、離農者の数に比べて研修生が3名と少なく効果が期待できないこと、対象となる作物が限られていることが指摘されました。さらに、多品目に拡大できないか、他の産業にも適用できないかという議論に発展していきました。

### ◎町の人事管理

医師の確保は住民の安心安全を守る上で最優先に取り組むべき課題ですが、長らく外科医が不在になるといふ状況、さら

したが、今後他の診療科についてもこのようなことがないよう、求めました。

バスガイドについては、今年度末で2名が退職することを受け、指導できる環境があるうちに採用と養成をすすめるよう求めました。社会情勢や経済動向に左右されて傾向が変化するものが、観光の宿命。その変化に対応でき、島を熟知したガイドの養成は一朝一夕にできないものではないからです。

### ◎決算書から

今年度の決算で不用額が多いのが目立ちました。当初予算で要求し議決を受けたほぼすべての科目で執行率が低かったのは、積算が甘いと考えられ予算総額をいたずらに膨らませることになるので、一層の精査を求める声が多く出されました。私たちの任期も残すところ8か月になりましたが、最後まで気持ちを引き締めて取り組んでまいります。

再生可能エネルギーについて

**答** 地域の受益につながる事業主体が形成されるしくみを考えていきたい。



岩崎 由美 議員

◆ 所要時間 23分

再生可能エネルギー事業は、八丈島にとつて非常に重要な事業であるにも関わらず、本事業に対する住民の理解は十分ではなく、また行政側も、周知の努力が少なくと感じられる。現在進められている事業のしくみが理解されないと、事業も進まず、疑いをもたれる要因となる。

再生可能エネルギー関連事業に関わる団体と事業内容、及び予算の流れはどのようなになっているか。

〔答〕企画財政課長 団体は

「八丈島再生可能エネルギー利用拡大検討委員会」と「八丈島地熱発電利用拡大検討協議会」の2つ。前者は町と都を主体とし、再生可能エネルギー利用拡大と地元への利益還元の方策を考えていく組織。運営する経費は東京都が全額負担。後者は地熱発電や地熱利用に対する住民の理解を深める事業を実施するため、商工会を幹事法人とした民間団体によって構成されている組織。経費は経済産業省の資源エネルギー庁が全額補助金として直接交付。ただし実績報告に基づいた精算払い。

〔問〕「事業主体の整理」で事業者選定のルールを作る項目があつたが、これについてはどのような方針か。

〔答〕本議会に「八丈町地域再生可能エネルギー基本条例」を上程。そこに再生可能エネルギーを利用しようとする事業者が出現した場合の諮問機関として審査会の設置規定等を盛り込む。

〔問〕地熱発電の割合を高める一方、内燃力発電についてはどのように維持するのが理想的か。

〔答〕需要と供給のバランスを常に保つようにする方策を

精査しているところで、規模の提示までには至っていない。

〔問〕「八丈島地熱発電利用拡大に関わる地域活性化事業のアイデア募集」の経緯は。

〔答〕経済産業省「地熱発電理解促進関連事業支援補助金」で、臭気問題や地熱活用策を考えていただきたいと考えた。募集締め切りがみえない中、早めの対応をするためにアイデア募集を5月に行った。

〔問〕4つのワーキンググループの進捗状況は。

〔答〕1月の後半に第3回目の検討委員会を開催する予定、その時にはある程度まとまった内容を示すことができる。

〔問〕周知や説明の方法について、もう少し住民側にたつた方法にするべきなのは。

〔答〕それに関しては我々も反

省している。1月の広報から拡大検討委員会の内容と臭気情報を公表していく。

〔問〕八丈島の地熱発電所で災害がおきた場合、島内の電力をどのように確保するか、内燃力の確保はどの程度維持するべきか、これについてはどのように考えているか。

〔答〕災害への対応ということでは、委員会で検討している。蓄電池が大変有望になっており、重要な施設には大規模なものも設置できると聞いている。その辺も含めて検討している。

〔問〕地熱利用のアイデアについて、今後新しいアイデアも受け入れる事は可能か。

〔答〕勉強会は現在やっていることだけにとらわれてはいない。住民の皆様から色々な意見をいただきたいと考えている。ただどのような形でそれを検証していくかについては、これから考えさせていきたい。



八丈島地熱発電所

島外者の八丈高校への受け入れ制  
度を

答  
欠 移住環境を整備することが不可



菊池良議員

◆所要時間 21分

ホームステイを受け入れてくれるホストファミリーがあるか意向調査を行いたい。

○ホームステイは一般家庭での受け入れが困難、測候所など空いている施設を借り上げる方法もある。他島との連携を十分行い前向きに検討を。

○教育長 各島の教育長とは、足並みを揃え情報交換をしながら実施していくことで意思の統一が図られている。ホームステイ制度で受け入れを始めながら施設も活用できるか並行して進めたい。

発災時に八高生が主体となる協力的体制の整備を

答  
る 取り組み実施している

○支庁長が支庁土木課と建設業協会との災害時における道路復旧協定の話をいくつかの場所で行っている。

ざという時に備える体制作りを考えてみては。

○町もご質問の主旨と同じ考えを持っており、その取り組みをしている。

○昨年度の防災訓練は、高校生による避難所設営、誘導、受け入れ、炊き出しをはじめ消火、救命訓練を実施した。また、八高等学校防災教育推進委員会に参加し高校生への防災意識と知識の普及啓蒙の取り組みをしている。町消防本部では、高校生に対する救命講習で終了証を発行しているほか、八高避難訓練や中学校での消火・救命訓練、教職員や町保育職向け訓練を実施した。



防災訓練（八丈高校）

平成25年3月定例会一般質問で八丈高校への島外者受け入れ制度の可能性について、他の伊豆諸島との連携をはかり東京都へ働きかけをしてはどうかと提案した。このたび東京都教育庁より、各島あて「島の高校への内地中学生の進学等について」の考え方の提示と各島への受入体制の是非が問い合わせられたと聞いている。

○内容、現在の進捗状況は。

○教育課長 平成25年10月31日、東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課の担当者、都立八丈高等学校の校長、教育庁八丈出張所副所長、町教育委員会の教育長と私などが意見交換を行い、受け入れ体制等について検討、調整し、仕組みが整備され次第受け入れを実施することを確認した。

○八丈高校あるいは他島との連携を含めた考え方・方向性は。

○東京都では受け入れに当たり「ホームステイ」を計画しており、受け入れ体制などについて東京都、八高、出張所、町の4者、あるいは4者で作る検討委員会での検討する。まずは島内での

地熱発電の廃熱を利用した温室の  
現況は

答 別の方法を検討中



廣江才議員

◆所要時間 44分

問この事業は、各地にある地熱発電所の中でも産業と融合させた意味で先駆的で、かつ特筆すべき事業である。が、現況はメンテナンスの不備等により正規の効果を得られず、作付け作物の変更を余儀なくされるなど、先駆的農園芸事業者が撤退を迫られている。協定により、ただ循環ポンプの電気代のみが事業者に重くのしかかり、本来なら広く産業振興に寄与し収益も見込まれる夢のある事業であるが、その認識を尋ねる。

答 産業観光課長 地熱利用組合から、現在の熱供給方式での加温栽培は厳しいと聞いている。施設も15年経過しており、再利用が可能かどうかも含めて調査、検討する。

問地熱利用組合12名、内熱供給利用者4名の現状で電気代250万円の負担はかなり厳しいと思われるが、どのように対処しようと考えているか。

答 事業開始当初、基盤整備は町、電気料は地熱利用組合負担を決めた。

問地熱発電所の拡大を目指す八丈町にあって、都、国をも取り組む一大事業が目前に控えている現状において、これまでのように、事

業者にのみ負担を押し付けるのではなく、町が真剣に取り組み、産業振興を図らなければならぬと考えらる。そこで、現状把握の観点から現地調査に入るとのことだが、東電、経産省等との進捗状況はどうなっているのか。

答 企画財政課長 東京電力東京支店を訪問し、熱供給について一緒に知恵を出していくこと、臭いの測定結果公表は真摯に対応することを確認した。経済産業省に対してはアクションを起こしていない。

地熱館委託料は妥当か

答 精査した金額と認識

問6月に運営上委託契約されたが、期間及び契約金額、根拠、入札方法を取り入れなかった理由、また契約範囲などを細部にわたり尋ねる。事実上9月1日にオープンしたが、9月から11月

までの実績、将来予測は。

答 企画財政課長 ○契約期間▽平成25年6月24日から平成26年3月31日、最長平成27年末まで延長可。○契約金額▽税込み2216万846円。受託業者からの参考見積もりを基礎とし、精査かつ減額交渉を経たうえで算定。地熱館を設置する趣旨、役割を認識し、求めている水準以上の業務をしてもらえる団体を選定するには、企画提案方法を採用し広く応募することが適当と判断。○契約範囲▽地熱館のPR業務他。○実績合計▽収入18万2350円、入館者数2116人。○将来予測▽行政視察の増が見込まれる。

問実質上7ヶ月間に対してその金額の妥当性を疑う。一般社会常識に照らし合わせてもいかがかと思う。ありとあらゆるものを必要経費とする考え方は町の財政面から見ても異常である。

答 人件費、備品購入、ホー

ムページ作成料などを含めた精査した金額と認識。

問温室運営は、これまでも現地の状況を把握しているわけだが、それを放置し現況を生み出している。受益者負担の原理原則のみに捉われ、果たして真の意味での産業を考えているのかその姿勢を疑う。地熱館は、研修費など社会常識では自己負担であり納得できないのではない。これらの答弁についてどう思うのか、その認識を町長に尋ねる。

答 町長 温室運営▽他の方法を考えており、東京電力に打診中。地熱館▽来年度人件費を精査する。



八丈島地熱館

町の高齢者福祉政策のなかで養護老人ホームをどう位置づけているか

**答**  
受け皿としての役割があり措置することは必要



奥山 幸子 議員

◆所要時間 39分

町が平成18年に養護老人ホームを建て替える方針を出したのに対し、養和会はあえて建て替えず在宅介護の充実を図ることで将来的になくしていく方向で考えたいとしている。双方の見解が異なる中、現状を知る必要があるので次の質問をする。

問 養護老人ホームにかかる年間の財政負担はどれくらいか。その役割はどのようなものと考えているか。

答 福祉健康課長 利用者の

が特定されていない。つまり、養護の経費は一般財源なので、養護の入所者が少なければ少ないほど、財源はほかの事業に使えるというこを意味するのでは。

答 企画財政課長 交付税の算定基礎は対象人数であり、人数が減れば交付税も減る。

問 養護を町にのつての特養予備軍と考えているとしたら、財政負担が大きいだけに心配。これまで、町は財源がないからと消極的だった施策、たとえば福祉タクシーの導入や24時間対応定期巡回・随時対応サービス

問 増築している特養の老人ホームと併せて問題の一つと考えている。将来の養護、特養のあり方も含めすりあわせをしている。

問 町は行政の責任として措置するというのが、この方法は最善か。この8000万円は、国の地方交付税であり、補助金とは異なり使途



社会福祉法人養和会

の実現、医療との連携などに力を入れ、根本的なところから洗い直した計画が求められる。

答 福祉健康課長 特養予備軍とは考えていない。八丈でできる地域包括ケアシステム構築に向け関係機関のまとめを行いたい。

町の防災体制の強化を

**答**  
警戒区域や特別警戒区域を指定していく

今回のような甚大な被害をもたらした台風に対し、町はよりきめ細かな防災対策が必要と考える。

問 大雨による被害を最小限にとどめるためにどのような対策を考えているか。

答 総務課長 警戒区域や特別警戒区域を指定していく。土砂災害は危険箇所を周知することで対処する。

問 避難勧告を出す状況にな

った場合、高齢者、障害者の避難方法・場所をどのように考えているか。また、ペットの避難対策はあるか。

答 公民館の開放や、要援護者の養和会への避難などを呼びかけた。養和会と協定を結んでおり、高齢者から障害者へ広げていく。ペットへの対策はしていないので今後の検討課題としたい。

問 今年夏に環境省は「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン（指針）」をつくっている。もっと積極的に対応すべき。

答 ガイドラインについては調査してみる。

● こんな質問もしました

問 観光協会の支援策のひとつとして、協会を通した予約の推進を。

答 協力し連携もしていきたい。協会の自立を支援していきたい。

避難勧告発令基準を策定しているか

答

八丈町の基準を関係機関と定めたい



水野 佳子 議員

◆所要時間 16分

いくべきだと考える。

○避難勧告の発令基準は策定しているか。

○総務課長 ここ数年の防災訓練では、災害対策本部

による津波警報発令時の沿岸地域への避難勧告という運用をしているが、土砂災害の発生の恐れについての基準はない。今後、大島の教訓から国や東京都も含め対策が進められるので、八丈町の基準を関係機関と定めたいと考えている。

○土石流災害のハザードマップは出来ているか。

○津波とは違い全戸配布用のものがないため東京都と作成に向け準備を進めている。

○自分一人では避難できない災害弱者に対してどのような避難誘導をしていくか。

○今まで津波への対応を主に置いてきた、土砂災害についてはハザードマップ

を作成する段階で地図情報を活用し、危険な地区と要援護者の住んでいる所を併せて、該当者への避難体制を考えている。

○災害時の食糧や、水の備蓄は十分か。

○約4万食、一人五食分の

アルファ化米を東京都から預託で各避難所へ配備している。今後も東京都から追加配備される。水の備蓄は無いが、町の水道管の耐震化、プールの水を濾過する方法を進める。

○大島の災害ではトイレ、飲料用の水の確保が大変であったと聞いている。水や飲料水を用意しておくべきでは。

○トイレは各避難所に発泡処理剤を配備している。ペットボトルの備蓄は多額の予算が必要になるので、予

算が

算上の問題も併せて考えている。

○今年の防災訓練には使用されなかったが、防災拠点として作ったはずのおじゃれホールをどのように活用していくか。

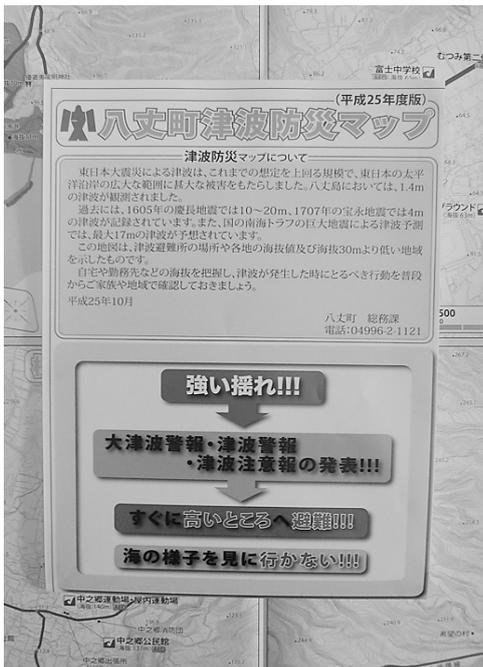
○台風26号、27号の時は万が一に備え観客席を収納し、平土間にして備えた。どのような災害の時どこまでの避難所を解放するか、どのような順番で開放するか優先順位付けが課題と考えている。準備が出来た段階で周知する。

○防災担当の専任職員を置く考えはないか。

○現在人員配置に苦慮している。同時に組織を維持することが非常に困難な状況にある。採用試験を実施する予定なので、その中で人員の確保、配置についてどこまでできるかは、努力したいとの回答に留めたい。

平成25年10月16日未明伊豆大島において、台風26号による甚大な被害が出た。土石流災害により、死者行方不明者が40名を越える大きな災害であった。八丈町も台風などの際は、防災無線を通して公民館への自主避難を呼びかけている。しかし、大雨や深夜の中、寝たきりの高齢者や、ひとりでは動けない災害弱者といわれる人達を避難所に連れ出すことは容易なことではない。

あらゆる災害に備え、万全の準備と体制を強化して



八丈町津波防災マップ

宇喜多秀家命日に八丈島で大イベントを

答

新規イベントは、民間の提案に支援する考え方があ



山下 松邦 議員

◆所要時間 11分

10月12日、第5回宇喜多秀家フェスティバル・おかやま桃太郎まつりに、サポーターとして参加した。ま

「最近、頻繁に、宇喜多秀家をNHK大河ドラマにとの声を聞きますが、来年は黒田官兵衛の予定ですので、次に出来るよう政財界はもとより、皆で声を上げていきましよう」の一声で終了した。

また、7年前に初めて岡山にお邪魔した際お会いした、山陽新聞の次期社長と

目される方と部長より「来年11月20日の宇喜多秀家命日には、岡山県、鹿児島県、石川県、東京都板橋区等、宇喜多秀家に関係のある所に話しかけ、八丈島で大イベントをやりませんか」との話があった。

歴史民俗資料館の建て替えの進捗状況は如何か、時間がかかるようであれば、別個に宇喜多秀家記念館建設を考えたらと思うが。実現するとNHK大河ドラマの受け入れもやりやすい環境となる。

教育課長 平成24年3月の基本計画では、今の建物を改築する案であったが、新たに建設することも含め検討している。宇喜多秀家に特化した記念館を資

料館と別に作ることは考えていない。新しい資料館において宇喜多秀家コーナーを作る計画である。

資料館の建て替えはいつ頃を予定しているか。

平成29年以降に予定している。

来年11月20日の宇喜多秀家の命日にイベントを計画し、秀家に関係する各県、諸機関に働きかけ観光集客としては。

産業観光課長 2年前より岡山市でのイベントに八丈から民間団体が主体となり参加した。それを契機として島内においても11月20日の命日には、その民間団体が2年前から自主企画のイベントとして、また、おかやま桃太郎まつりの交流継続の一環としての取り組みを実施している。民間団体での命日の取組みを主体として考えるべきで、歴史・文化・芸術的側面より材料を検討し、受け入れ体

制を十分に整えた上で、一過性のイベントではなく継続性のあるものにしなければならぬと考える。また、段階、手順などイベントの位置づけを明確にし、方向性も含め関係団体と協議し

慎重に取り組むべきと考える。新規観光イベントについては、民間からの提案に対して支援という考え方があ。その点についても配慮して検討する必要性がある。



第5回宇喜多秀家フェスティバル・おかやま桃太郎まつり

島内の教育水準向上と一貫校導入について

**答** 平成30年度までに小中一貫教育の開始を目指す



山下 崇 議員

◆所要時間 23分

を目的とした施設の提供はできないか。

**答** 教育課長 小学校については放課後子供プランに対応。大賀郷中学校については週1で教室を開放し8割程度の生徒が参加。

2020年の東京オリンピックの開催決定など、スポーツ分野への注目は非常に高い。一方、本年度は、三原中学校が3度目の「日本学生科学賞」中央審査進出を決めた他、都立八丈高校や三原小学校でも各種科学賞の受賞が相次いでいる。これは、島外の一流校とも互角以上に渡り合える資質を持った子供たちが多いことを表すものである。これらをつまみ、次の3点について質問する。

① 学習環境の充実▽自習等

**答** 児童、生徒への支援▽要支援、準要支援家庭が増えていることから、家庭の事情で進学等を諦めるケースがある。また、学習の機会と質は全く別であり優秀な児童生徒には環境によることなく質の高い学習を受けさせることが重要だ。町として積極的に支援するための基金創設の考えはないか。

**答** 奨学資金の貸与を行っている。

**問** 小中一貫教育について▽今後の八丈島を担う子供たちに高度な教育の機会を与えるために、小中一貫教育についての基本的な考え方を伺う。実施の可否、時期等も明確にできるものがあるれば示してほしい。

**答** 教育長 八丈町なりの教育連携はかなり効果が上がっていると考えている。

現在島内の教育は3ブロックに別れているが、三原中、三原小が施設を共有しているので施設一体型としての統合を目指す。平成26年度より予算化して検討を始め、平成30年度までの小中一貫教育の開始を目指す。

**問** 図書館の利用はできないか。地方教育行政の最終権限を教育委員会から首長に移行し、首長を「執行機関」とする答申案の素案が示された。これらは、教育委員会不要論に発展しないか。

**答** 町長 図書館の利用については、指導者についても

併せて検討する。地方教育行政の最終権限が委譲されたとしても、教育は政治とは独立したものであるのが望ましいと考える。

**答** 委託受託の関係がある業者は、行政サービスの一環として事業を行っているという意識があるのか。

**答** 行政の代理としての立場を明確にするよう指導監督に努める。

これまで、多くの議員から八丈町職員に対する資質向上について質問され、多くの議論、要望がなされてきた。職員の対応は日に日に改善している実感があるものの、委託により行政サービスを行う施設では住民からの指摘が多い。

**問** 町営施設で町職員と業務委託がある場合▽町立病院に代表されるが、職員と委託の民間業者があり、委託側が容易に監督できると推

察される。しかしながら、受託者の対応に不備が多く住民からの意見が多いのが現状である。誰のための施設で何のための行政サービスであり、どの様に指導監督を行っているのか。

**答** 病院事務長 当然住民のためのサービスである。苦情があった場合は担当者個人に指導するのでは無く、受託業者を介して指導を行っている。

**問** 町の行政サービスと一体だが、事業者が行う場合▽ゴミ処理、リサイクル事業があげられるが、委託受託の関係があるものは事業者に対し行政サービスの一環として行っているという意識はあるのか。また、対応についてはどのように指導しているのか。

**答** 住民課長 苦情を受け付けた段階で事実関係を確認し、受託業者に指導を行う。行政の代理としての立場を明確にするよう指導監督に努めていく。

コミュニティバス路線改善のためのアンケート調査を

答 実施に向け準備を進めている



菊池 陸男 議員

◆所要時間 46分

怪我をするなどの事故が発生した場合は、企業管理者まで報告が上がり、対応策がとられているか。

答 運行中のバス車内、バスを降車しての観光散策中でも、運転手、バスガイドが対応し運行管理者への報告を行い、運行管理者から企業管理者もしくは企業課長へ報告となる。

答 市内のバス会社などから講師を派遣してもらい、安全運転、接客態度、ダイヤ時間厳守等の運転者の研修が必要では。

答 企業課長 コミュニティバス路線のみでなく、一般路線バス車内での調査、老人会、婦人会などの集まりでもアンケートを配布し、調査を行うことを予定して準備を進めている。

問 運転が原因で乗客が転び

答 年に一度運転シミュレーションの機械を使い適性検査を実施。接客態度は日頃より指導教育をおこなっている。路線バスのダイヤは

前発禁止の原則で遅れ気味で運行している。

問 座席に着く前にバスが急発進したことで乗客が転び打撲した、その時の運転手の対応が悪かったとの事例。また運行では10分、15分の遅れがあったと聞いている。

答 運行管理者から乗客が車内で転んでしまったと聞いて

ている。乗客の安全を守るための運行に心がける。

問 町長の発言（路線バスは小型バス、観光・団体は大型）はどのように協議され、進捗するのか。

答 来年度購入計画の路線バスは小型バスを予定。

問 タクシーチケット制や乗合タクシーの導入についての調査・把握・検討を26年度目途に取り組む考えは。

答 9月定例議会で現行の公的制度、民間サービスについて説明した上で、自助・共助・公助の整理をし、地域力の向上を目指しながら、予算化については、限られた予算の中で今後行われる法改正等による影響も考慮しながら考えたいと回答している。この考えは変わらない。



町営バス

●こんな質問もしました

町立病院の改善、充実のために

問 内地受診の早期紹介や勧告はできないか。その際の医師の判断基準は。患者や家族の希望は反映されるのか。内規はあるか。

答 重篤な場合は救急へリ搬送、重篤でない場合、臨時専門外来や内地病院の紹介を行っている。医師の判断基準や内規を設けるのは難しい。内地病院受診を希望する場合は、紹介状で対応中。

問 運営協議会の議事内容、それに対する対応と成果等を広報で報告してほしい。また、メンバーの公表を。

答 次回の運営協議会から広報で報告する。公表は次回の協議会で委員に確認し行う。

「社会保障制度改革プログラム」の一部が平成26年4月から実施に移される

問 八丈町への影響は。

答 一番影響が出ると考える介護の負担増は、全国離島振興協議会でも厚生労働省に反対の要望を行っている。

# 第四回定例会の質疑から

## 三根公民館建て替えを早急に

奥山博文議員



避難所でもある公民館の耐震診断結果と、建て替え、耐震補強の必要はないか。また、耐震シールを貼るべきだと考えるが。

**教育課長** 三根公民館、中之郷公民館は危険な建物なので取り壊しが適切、樫立は耐震補修が必要、末吉公民館は問題なしとの結果。

**総務課長** 耐震の判定問題、耐震シール等を含めて、どこかの避難所を優先的に解放するか検討する中で考える。

奥山博文議員 三根は人口が多く、避難する公共施設が足りない可能性がある。三根公民館建て替えは町長の公約であり早急に進める

べきだ。

**町長** できるだけ早く建て替える。

## 台風26号で被害を受けた口へ農家に肥料配布を

沖山宗春議員



過去に冷害で全戸に肥料を配布したが、口べが今回もそれに近い被害を受けた。外国からの切葉が入りつつある中、一日でも早く復旧させる必要があるので早急に対応を。

**産業観光課長** 路地的な口べには、速効性の意味で肥料を3割、5割の補助で配布を、口ベネットの施設の中は、資材等に補助ができないか支庁産業課と調整して進める。

水野佳子議員 町全体での台風の被害総額は、

**総務課長** 11月29日現在、

一般住宅103件、倉庫などのその他家屋が40件、合計143件。町関係施設では6300万円、農業関係で約2億円などは把握しているが町全体の被害総額は把握していない。

## 多目的ホール短時間使用は半額等にす配慮を

奥山幸子議員 イベント実施の際、音響、照明、舞台の専門スタッフをつけた場合に各1万8千円の日当が発生するが、例えば2時間での使用は半額にするなどの配慮ができないか。

**教育課長** 2時間のイベントを行う場合でも、リハール、打ち合わせなどの拘束時間がある。また、その日スタッフは他の仕事が出来ないこともある。

奥山幸子議員 リハールを行わず本番だけで使用する場合もある。音響などの操作を出来る人を連れてきても、専門スタッフを立ち合わせなければいけないと聞いているので現実的でない。中学校の音楽会などは

無料で実施しているのか。  
**教育課長** 学校関係は無料。

菊池睦男議員 以前、町長は出来るだけ多くの技術者を育成し使いこなしていくと答弁したので、応募者が多数あり肅々と進んでいると思っていた。しかし、4人が1回だけ研修会に参加したと聞いている。全体的な公募をおこなったのか。

**教育課長** 文化協会等を通して応募をかけたが人数が集まらず6名であった。都内のホールの例など参考にしたい。

菊池睦男議員 おじゃれ運営委員会と話し合うべきで、運営委員会のメンバーからは決まったことが伝えられるだけと聞いている。  
**教育課長** できうる限りの

ことをおじゃれ運営委員会と一緒にを行う。

## 不用額を最小限にすべき

土屋博議員



決算全般で年間を通して一度も使用していない科目、且つ、大きい金額の予算が多い。不用額を少なくすべきだ。

**企画財政課長** 真摯に受け止め指導を行う。

●その他

◎ 観光協会への使途不明金 分納返済が滞った場合の責任の所在は

◎ 空いている一戸建住宅への対応は

◎ 物流センターの将来像はなども質問しました。

## 意見書の提出

地方法人特別税及び地方法人特別譲与税の撤廃と法人住民税の一部国税化に断固反対する意見書  
提出者・奥山博文 賛成者・議員全員  
原案可決

## 町ナビ

八丈島地熱発電利用拡大検討協議会による地熱理解促進関連事業で、年明けから国内外の地熱発電所などの視察が活発に行われている。写真は2月3日からの九州視察で訪れた、大分県の八丁原地熱発電所（認可出力11万2000キロワット）。視察ではいくつかの地熱発電所をめぐり、バイナリー発電や臭気対策、また、鹿児島県指宿の温泉熱利用園芸の実情などについて学んだ。



### 12月定例会主な議決事項

- 議員の派遣承認について（全国離島国家予算要望活動） ほか議員派遣4件
- 専決処分事項の報告及び承認について（平成25年度八丈町一般会計補正予算） ほか1件
- 平成25年度八丈町一般会計補正予算 ほか補正予算6件
- 八丈町職員の再任用に関する条例 ほか条例制定・規約改正5件
- 三根小学校プール改修建築工事請負契約の変更 ほか1件
- 平成24年度八丈町一般会計決算認定について ほか決算認定5件
- 平成24年度八丈町一般会計継続費精算報告について

### 全員協議会開催

平成25年12月5日開催

- 学校給食費の改定について
- 八丈町町制施行60周年記念事業メニュー検討素案について
- 中之郷土地購入について

## 編集後記

昨年は、大島町の甚大な被害を始め台風や集中豪雨、竜巻など、日本全国が自然災害の恐ろしさを実感した年でした。東日本大震災以来、防災、減災対策については八丈町議会の中でも毎回のよう活発に論議されております。住民の生命と安全を守るために、より具体的にどうす

るべきか、まだまだ課題が沢山残されています。いざという時、自分の身は自分で守るという備え、そして、地域の中で支え合うことはもちろんですが、行政としても町の危機管理を更に充実させてほしいものです。

水野 佳子

発行人 八丈町議会議長 小澤一美

編集 議会だより編集委員会 委員 山下崇 岩崎由美 水野佳子 奥山幸子

〒100-1498 東京都八丈島八丈町大賀郷2551-2 tel 04996-2-2788 fax 04996-2-5575